

- ① … 今年の代表は正智深谷に決定・大宮アルディージャ・平成27年度第2回臨時理事会／臨時評議員会開催
- ② … 埼玉からよりよい選手を育成するために～技術委員会メンバー座談会～
- ③ … //
- ④ … //
- ⑤ … 第70回国民体育大会サッカー女子報告・トレセン、指導者養成の現状
- ⑥ … 大会記録●県内大会 1種・3種・女子
- ⑦ … 大会記録●県内大会 女子・フットサル ●県外大会 1種
- ⑧ … 大会記録●県外大会 1種・2種・3種・女子・フットサル インフォメーション・事務局だより・編集後記

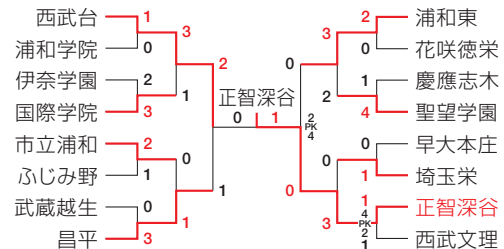
●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

今年の代表は正智深谷に決定 平成27年度第94回全国高等学校サッカー選手権大会兼埼玉県高校選手権 決勝トーナメント

11月15日に「平成27年度第94回全国高等学校サッカー選手権大会兼埼玉県高校選手権 決勝トーナメント」の決勝戦が開催され、1対0で正智深谷高校が西武台高校を破り、埼玉県代表として本大会に出場を決めました。なお、本大会では1回戦はシードされ、2回戦に明德義塾(高知)と対戦することとなりました。正智深谷高校の健闘を期待しています。

10月10日～11月15日 埼玉スタジアム20002他

●決勝トーナメント



優勝 正智深谷高校



決勝 正智深谷 vs 西武台

大宮アルディージャ、J2優勝とJ1復帰!

11月14日の明治安田J2リーグ第41節、大分トリニータ戦において、大宮アルディージャがJ2優勝とJ1復帰を決めました。昨年の降格から1年での復帰は、喜ばしいことです。おめでとうございます。来季のご活躍を期待しています。



写真提供: 大宮アルディージャ

平成27年度第2回臨時理事会／臨時評議員会開催

10月25日に臨時理事会、11月8日に臨時評議員会が開催されました。

議案は、公益財団法人埼玉県サッカー協会役員についてと役員の服務規程の設定についてでした。

SFA役員については、県の監査から「理事の選任・解任権を持つ評議員会が理事会よりも上部に位置し、評議員は理事会の下部に組織される専門委員会・種別委員会・連盟などの委員・役員であることは認められない」との指導により、次回選出時に向けて、定款を以下のように変更することが認められました。
・理事定数を10名以上25名以内とする。評議員の定数を5名以上15名以内とする。

また、以下の細則変更も承認されました。

評議員候補者の推薦基準として

第2条

(4)「県協会」の「専門委員会」「種別委員会・各種の連盟」「市町協会及び地域協議会・四地域連絡協議会」の委員・役員でない者

理事候補者の推薦基準として

第3条

3 理事及び監事になろうとする者は、任期終了の年の2月末日

迄に、所定の立候補届を評議員2名の推薦を添えて会長へ提出しなければならない。

4 監事・評議員で理事になろうとする者は、立候補届を提出するときまでに、その職を辞さなければならない。

役員、評議員等の年齢制限として

第5条

役員及び評議員は、その就任時に会長及び副会長は満75才未満、その他役員及び評議員は満70才未満でなければ就任できない。

評議員選定委員会について

第3条

2 委員は、現行の評議員、監事、事務局及び外部の学識経験者のうちから会長が委嘱する。

5 外部委員は理事会において選任する。

※ 評議員選定委員会……委員長1名、委員4名

第5条

委員会は、議事終了後速やかに評議員名簿及び議事録を作成し、委員長及び出席者の代表2名が署名押印のうえ、理事会及び現行の評議員会に報告する。

なお、服務規定については、JFAに準じたものを作成し、承認されました。

埼玉からよりよい選手を育成するために

～技術委員会メンバー座談会～

先日国体強化を主眼にした強化対策委員会が開催されました。参加されたメンバーにそれぞれの現状とこれからについて語ってもらいました。

参加者（敬称略。順不同）

福田直史・技術委員長（県立鴻巣高校）
 荻野清明・ユースダイレクター（県立浦和東高校）
 大森健司・2種技術部長（県立越谷総合技術高校）
 山崎 勉・3種技術委員長（越谷市立西中学校）
 長谷川暁雄・女子技術委員長（県立久喜高校）
 村松 浩（浦和レッズ/JFA ナショナルトレセン関東チーフ）
 中村 順（大宮アルディージャ/「なでしこジャパン」ヘッドコーチ）

—まず、それぞれから一言いただき、議論ができればいいかなと思っています。この座談会から何か一つでも提案が挙げれば、幸いです。よろしくお願い致します。まずは福田委員長からお願いします。

福田 組織として何が必要かを一年かけて考えながら作っていきたくと思っています。

中でも、指導者養成は大変ですが、計画を立てて講習会の準備をしていくつもりです。ただ、なかなか会場確保ができないものですから、東松山のSFAグラウンドのような施設を作っていただきたいですね。現状では、市町協会にお願いしたり、各種別で講習会を開催していただくようお願いしているところです。

各種別についてですが、キッズはまだ見ていません。河野さん（雅明氏）にお任せですね。4種は今年初めて「埼玉国際ジュニア大会」を見て、あとの時の栖（JFA Football Future Program）に行ってきましたが、改めて思ったのは、自分のチームを見ながらここまで見るのは難しいということですね。3種についてはトレセンリーグを荻野さんと協力しながら、見ていきたいと思っています。2種以外は、徐々に、ということですね。

各事業については、改めて検証していきたいと考えています。3種のSFAトライアル、4種のモデル地区トレセン、大学生のインターンシップなど、必要かどうかも含めて見てみたいものです。合わせて、選手個人から保険料なども含めて、会計報告については徹底していくつもりです。

—ありがとうございました。全体掌握もそうですが、相互理解も重要ですね。次は荻野さん、お願いします。

地域差、現場で起こっていることの掌握を

荻野 ユースダイレクターに就任してまだ間もなく、何ができるのか、またしなければならぬのか、わかっていません。福田委員長から「受け取れるもの」と、福田委員長と「一緒にやれるもの」を見極めていくところです。

常に現場に出ていますので、JFAの強化指針を伝えながら、下から上を見ていきたいと思っています。ですから、仕事としては選手の発掘だけではないと思っています。実際、県内を見ても、地域差がすごくあるじゃないですか。地域によってサッカーの歴史やチーム数とかが違うわけで、JFAからの方針は理解していますが、現場は千差万別。こういう立場としては、グラスルーツ

で起こっていることを伝えていかなければなりません。

特にリーグ戦、先輩の成果が反映される3種のリーグ戦では、中体連のチームだとほぼ全員が入れ替わってしまいます。それで大差での負けが続いてしまうのです。具体的に言えば、先輩たちの遺産で県の2部リーグに残っても、どうかと。まだ、県新人戦の優勝チームが県2部に入ったほうが、戦えると思うんですよ。「そうは言っても、これがリーグ戦文化だ」と言われればそうかもしれませんが、継承するだけでいいのか。末端のリーグでもトップと同じようにすべきなのか。13対0が子どもたちにとってプラスになるのか……。国体の監督などをさせていただき、トップレベルの選手を見ていただければ、改めて裾の広い視点を持たなければいけないと思っています。

—リーグ戦に関しては、まだまだトライ&エラーの時期だと思います。プレーヤーズ・ファーストの考え方でお願いしたいものですね。それでは2種、大森さんお願いします。

4種、3種までは停滞していない

大森 私の場合は何かが変わるということではなく、今まで同様ですね。引き続き、高体連の人たちが技術委員をやっているのですから。また、トレセンも選手の育成に主眼を置くことに変わりはありません。

よく、県の高体連チームは勝てない、国体の選抜チームは勝てないと言われますが、各カテゴリーの日本代表には選手を送り出していますし、プロ選手も出ています。ただ、県外に出て行く選手は山ほどいます（笑）。

埼玉県は4種、3種までは停滞していないのですが、課題は2種です。国体選抜は16歳以下の大会になってからベスト8が最高です。東京も神奈川、千葉も優勝しています。一昨年、山崎総監督（現、伊奈学園高校）と岡本隆吾コーチ（大宮アルディージャ）が率いたチームは、関東トレセンリーグで完全優勝し、本大会も優勝した東京戦のみ負けただけなのですが、結果が出ませんでした。改めて「16歳って、子供だな」と思いました。主力選手たちもミスが多かったですし、メンタルの部分での強化は大きな課題です。

他県の取り組みを見ると、3～4人のスタッフで監督とコーチを回しているところもあります。また大阪府の監督は高校教諭をしながら4年目という、スペシャルな人もいます。現状、埼玉県としては若い指導者を育成するという考えから今のやり方（持ち上がり&レッズ、アルディージャのスタッフが隔年で参加）をしていますが、これでいいのかどうか、いろいろな意見をいただければと思います。

もう一つ、高体連としての結果ですが、3年前に武南高校が高校総体で準優勝、一昨年は正智深谷が3位になっています。



荻野清明氏



福田直史委員長



大森健司氏

ただ、高校選手権では上位に入っていないので、今年の代表チームにはがんばってほしいと思っています。代表になってから1ヶ月半、準備期間があるので、技術部としてはバックアップしていきます。

いい選手はいます。ただ、分散してしまっているのが現状です。昔の武南は「スタンドにいる選手でも(県)ベスト4」と言われたものですね。

—魅力ある2種、高体連であってほしいと願っています。山崎さん、お願いします。

中体連の指導者とクラブの指導者の交流を

山崎 はい。3種は最もチーム数が多く(457)、選手も2万人を超える中、県トレセンを頂点に東西南北の4地区、さらに郡市トレセンと繋がっています。これらをもう少し整備していかねばならないと思っています。そのためにも個人的には、埼玉県としての強化指針、指導指針を出してもらえれば、各チームで同じような指導ができるのではないかと考えています。



山崎 勉氏

課題としては、中体連の指導者とクラブの指導者の交流があまりありません。同じ埼玉で同じ年代の指導をしているのですから、イベントやミーティングをやっていきなさいと思うのです。

やはり指導環境の向上、特に指導者の質が向上していかなければいけません。レッズ、アルディージャにもご協力いただいて研修会を開催し、もっと多くの指導者にライセンスを取得してもらうなどして、指導現場の質を高めていきたいものです。

再びトレセンですが、3年生になると、県トレセンにレッズ、アルディージャの選手たちが入ってくるので、メンバーが大幅に変わってしまいます。しかし、U-12から見ていくと、「もともとU-12で県トレセンに入っていた子供たちが、U-15になって戻ってきただけ」という見方もできるのです。そこから先のことは、選手が考えることだと思います。ただ、我々としては高校との橋渡しができればいいなとは思っています。

—「戻ってきただけ」という視点は大事にしたいですね。長谷川さん、前号に続いてですが、お願いします。

根本的な改革、見直しが必要か

長谷川 女子に関しては……停滞しています。私自身、手が回っていない状況です。今年、国体チームをまたレッズさんをお願いしましたが、振り返れば、2005年に国体の女子チームをレッズさんをお願いした年に女子の技術委員会を作ったのです。



長谷川 暁雄氏

ただ、女子の中にはU-12(現在は4種)、U-15、高校、大学、レディースと幅広い年代が含まれており、これらを全部把握しろというのは、無理な話です。委員長就任当時は吹上高校におり、それでも冷や汗をかきながら仕事をしていましたが、今の久喜高校は県大会の上位を狙えるチームです。また、それぞれのカテゴリーでトレセンを行っています、なかなか顔を出せる状況ではありません。JFAからは「委員長として、指導力を発揮してほしい」と言われていますが、何もできていません。

そんな中、国体チームをU-12からのトレセンの集大成しようとして、レッズレディースにお任せしていたのを県選抜チームとしましたが、日程的に難しく……武蔵ヶ丘短大、尚美学園大学、そしてまたレッズレディースをお願いしたところ。ポリシーとし

ても一貫しておらず、どうしようかと考えています。

トレセンスタッフについてですが、一度スタッフになったら何年もやらなければならないと思われているので、なかなか手を挙げてくれる人がいません。C級を持っている人にはB級を取りに行ってもらいたいのですが、それでも、U-15については、トレセンチーフとしてアルディージャの大石さん(裕弘氏)になっていただけており、テクニカルな部分の指導をお願いしています。ただ指導者養成に関しては、他の人に関わっていただきたいのですが、手を挙げていただける方がなかなかいらっしゃいません。またトレセンそのものが会場を押さえられず、流してしまうこともあります。根本的な改革、見直しが必要かと思っています。私自身が迷っているんですよ。

福田 全体の掌握は大変だと思います。中でも、国体女子の選抜チームは難しいですね。チームの中に大人もいれば子供もいて、男子のように年齢別に分けてもらったほうがいいですね。

長谷川 そうなのですが、それは難しいですね。地域によって、競技人口が異なるので、チームとして作れる、作れないという事情があります。

村松 国体となると……JFAの少年の部のレポートを読みましたが、勝ちに行くチームというのは、良い悪いがあるでしょうが、早生まれを多く集めていますね。ルールとしてはOKであり、選手を受け入れる場になっているから否定はできませんけどね。

大森 U-16になったら、関東でも日本でも、どこでもいいじゃないかと思えます。たまたま、その国体に出ているだけなんですけどね。でも「勝たないと」と思ってしまう。ワーキンググループの中では、修正をしようという話は出ています。

—少年の国体をU-16にしましたが、この年代も忙しいですね。それでは、中村さんいかがでしょうか。

交流が少ないんですね。一緒にボールを蹴りたい

中村 高校選手権に出場するため高槻南高校の一員として埼玉に来て、浦和市立高校(当時)に負けました。田舎者でしたが「あの埼玉でサッカーできる」と喜んだものです。その埼玉で、今こうして皆さんとこういう話をしていることが、感無量です。



中村 順氏

さて、大宮アルディージャとして、トレセンの選手、スタッフとどう関わっていくといいのか、以下の3つについてぜひご意見を聞かせてください。

まず、これまで多くのスタッフに関わらせていただき、多種多様な経験をさせていただきました。いいチームになった年もあれば、今年のように残念な年もあり……何か問題があるのではないのでしょうか。

次に地域とチームとの関わりです。スタッフには県内の中、高のチームと関わってほしいと思っていますが、現実としてU-18はプレミアリーグ、U-15は関東リーグに参加しているので、交流が少ないんですね。ですから、交流を持ちたいと思っています。話をしたいし、一緒にボールを蹴りたいと思っています。

最後に、女子サッカーへの関わりです。アルディージャとしても取り組んでいきたいと考えています。これは私がなでしこジャパンのスタッフ(ヘッドコーチ)であること、また今回カナダのワールドカップに出場して改めて感じたのですが、FIFAは本当に女子サッカーに力を入れています。まだまだ発展の可能性があるので、日本は上位にいます。こういうことから、埼玉県にどのように還元できるかを考えているところです。

—ご提案、ありがとうございます。交流という提案は、山崎さんからも出ましたね。

大森 よろしいですか。アルディージャさんには選手をスムーズに出していただいていますし、スタッフも出してもらっています。関東で見たら、埼玉と神奈川はJクラブとの連携が上手くいって

います。

現状、Jクラブのコーチのほうが指導レベルが上というのはあります。高体連の若手を見ていると顕著なのですが、勉強不足の感があります。ここに刺激を与えていただきたいと思います。

例えばですが、県トレセンのスタッフがアルディージャのU-16の選手たちを預かって指導させていただけるかどうか。月2回しかないトレセンとは違いますから、当然ハードルは高いと思います。正直、どうしたらスタッフの資質を向上させることができるのか。こちらから、そういうことをお願いできればありがたいですね。

中村 トレセンの練習を見ていて、うちのスタッフがコーチングしているときでも、ときどき言葉がわからないことがあります(苦笑)。ということは、選手はもっとわかりづらいと思うんですよ。用語を含めて、共通となるもの、基準となるものがあればいいですね。

県トレセンのスタッフの皆さんに来ていただくことは、我々にとっても有益なことだと思いますね。

福田 でも、すぐにチームの中に入っていくのは難しいかもしれませんね。

大森 まずは見に行くところからですよ。例えば、来年は4地区のトレセンスタッフにも県トレセンの練習を見てほしいと言っていますし、順番になるでしょうが関東トレセンリーグへの見学をmustにする予定です。見に行き、交流するところからですね。

村松 見に来てもらう、サポートしてもらう、そして一緒にトレーニング……クラブ的には拒否するような話ではありませんね。依頼があれば多分、大丈夫でしょう。

中村 先日も、高知高校の監督さんが見学に来ていましたよ。ユースの監督の伊藤(彰氏)がライセンスの同期ということで声をかけたみたいです。

村松 U-12、13、14のトレセンはいろいろと情報発信ができていますが、2種になると国体が「トレセンの集大成」ということとなり、情報共有の場が少なくなってしまう。そういうこともあり、今年また9地域のU-17で選抜対抗戦をやることになったんですね。

トレセンに関わっているスタッフに、普段のトレーニングを見てもらうことは必要だと思いますし、指導者同士、連携が取れるといいですね。逆にJクラブとしても、そういう協力はドンドンしていきたいと思います。

中村 Jリーグでクラブの海外遠征に地域の指導者が帯同する場合、補助金が出るんですよ。

村松 そういうのを活用してほしいですね。一緒に海外へ行ってもらって、同じものを見れば、指導者としての質も向上すると思います。

福田 ぜひ、そういう話があれば、お願いします。

村松 ダイレクターから「ぜひ、県トレセンのスタッフを」と言ってもらえるといいですね。そういう意味でも、トレーニングに来ていただけるといいですね。

中村 夏にレッズもアルディージャも、14歳の大会に出場しています。そういうときがいいですね。

——最初から無理、ということではなさそうなので、企画として進めていただけるといいですね。さて村松さん、最後にお願いします。

男女とも、埼玉県で選手が育っている事実

村松 ナショナルトレセンの関東担当として、またレッズのスタッフとしてこの場にいますが、以前は技術委員会にいましたから、またこういう交流ができるようになったことはいいことですね。縦、横のつながりはそれぞれ独自のものですが、お互いがわかるような環境、お互いが理解することが大事だと思っています。担当される方たちは大変でしょうが、情報交換をし、共有し、現場に落とすしていくには、こういう場が一番大切でこういう会議を継続してもらいたいことを願っています。私自身、情報提供や県のトレセン活動には、協力していきたいと考えています。

さて、女子が大変だということは認識しています。ただ、少女のトレセンは4種と一緒に同じ場所、同じ時間でやるようにお願



村松 浩氏

いしており、今は男子の指導者が女子を教えたりして、指導者同士の交流もしてプラスに働いていると思っています。女子を見ていると、やはり埼玉と東京にはいい選手がいて、代表につながる大きな供給源になっていますね。

いわゆる“入口”のところの子供たちは指導者とい関わりを持っていてと思います。埼玉では、中村さんが「なでしこジャパン」のヘッドコーチですし、下の年代の代表選手を見てもレッズが多く、あとはベレーザやジェフ、そしてJFAアカデミーの選手たちです。埼玉の選手たちのレベルは高いですので、いい刺激を与えていきたいと思っています。女子も男子と組織の仕組みの共有、男子からのサポートがあればもっといいものになっていくと思いますので、期待しています。

男女とも、埼玉県で選手が育っているのは紛れもない事実。代表にも行けています。あとは環境を見直してほしいと思います。

——村松さんにまとめていただいたような感じでありがとうございます。新しい組織になったのですから、これまで以上にそれぞれで積極的な関わりを持っていただくことが大事だと思います。それがさらによくなることに繋がることと思っています。不定期になりますが、また皆さんの声を聞かせてください。ありがとうございました。

日常のトレーニングの質を上げて

4種技術委員長 大山 武士

4種から見ると各種別が独自で活動をしているように見えます。組織が変わった今、ここから埼玉県としての新たな幹を作りながら、4種、3種、2種と繋げていくことが大事だと思います。何年後に今までと違う「埼玉県」になっていくことでしょうか。そこに男子はレッズとアルディージャ、少女はレッズとエルフェンに関わってもらえれば、いい成果、日本代表選手が出るのではないのでしょうか。



大山 武士氏

4種の課題は過密なスケジュールです。4種委員会として大会を整理していかなければならないと思うのですが、各市町村レベルでの整理、各大会のレギュレーションの整理は、なかなか難しく時間がかかりそうです。

トレセンは市町、4地区、そして県と繋がっています。また、4地区から少女も一緒に参加して、協力体制ができています。選手は交流会などで見て、随時追加しています。チームによって、力の差がある中でいい刺激を与えられればいいなと思っています。

指導者養成については、チームで質の高いトレーニングをしていただきたいと思いますし、積極的なライセンス取得をお願いしています。おかげでD級は増えてきています。ここからC級にチャレンジしていただけるよう促していきたいと考えています。指導者の皆さんには、D級を取得したことに満足せずに、学び続けてほしいと思っていますし、D級の皆さんを対象としたリフレッシュ講習会も検討しています。

トレセンも大事だと思いますが、日常のトレーニングの質を上げていただくことが、子どもたちには必要なことだと思っています。

第70回国民体育大会 女子

9月28日～10月1日

サン・ナンタンランド多目的グラウンド他

1回戦 宮城県 2-1 埼玉県
得点者：遠藤 優

※ 優勝は三重県

2015和歌山国体 成年女子サッカー報告

技術委員長 福田直史

晴天に恵まれピッチコンディションもよい串本サンナンタンGで行われた1回戦は、優勝候補同士の対戦。東北ブロックを圧倒的な強さで突破してきた宮城県は、常盤木高校OGのなでしこメンバー8人と常盤木高校3名の常盤木チーム。埼玉も関東ブロックを圧倒的な支配力で突破してきたレッズレディースユース出身のなでしこメンバー4人とレッズレディースユース7人のレッズチーム。

前半スタートから埼玉がボールを支配して主導権を握り、宮城がカウンター攻撃を仕掛ける展開となる。攻撃タイプが違う両チームであるが、お互いの良いところが出始めて互角の戦いになった10分過ぎに宮城が埼玉陣内のペナルティーエリアに入ったところで埼玉DFの不用意なファールで宮城にPKを与えてしまい1点リードされ、埼玉のゲームプランが苦しくなった。それでもそこから積極的な攻撃に入り⑦加藤⑨塩越や⑩遠藤などがアタッキングゾーンに入るも得点には至らず、前半を終了する。

後半に入ってもスタートから埼玉がボールを支配してゲームを進めたが、自陣での横パスをカットされ、縦パス1本でGKと1対1を作られ2点目を取られる。それでも攻め続けていた埼玉だが、宮城の守備意識が徹底しておりなかなかシュートまで行けない。攻めては奪われカウンターを受ける繰り返しになり時間だけが進む展開だったが、選手交代で入った⑫高橋のタテへの突破などでリズムを取り戻し、残り10分でやっと最終ラインの裏にボールが配給できて1点を返し、残り時間も攻め続けたが宮城の厳しい守備をさらには崩せず、1-2で初戦敗退する。

最終的にはシュート数も宮城の方が多く、ボールは支配してい

るものの最終ラインを崩していく縦パスを効果的に入れられず、ラストパスとフィニッシュの精度も低く得点できなかったことと、奪われたボールへのリスクマネジメント不足で相手の効果的なカウンターから失点したことによる敗戦であったと思われる。

その後、準決勝までを視察して埼玉の実力は3位以内には入ると思われたので結果については非常に残念であった。(1位三重・2位東京・3位宮城)

<今後の課題>

- ・国体のジャッジ判断の準備・経験不足。(リーグ戦審判と若干違う研修の場の国体)
- ・70分トーナメントの戦い方、勝ち方の経験と工夫。(90分リーグとの違い)
- ・ビルドアップから崩し(仕掛け)にかかるところのパスや動きの精度アップ。
- ・ラストパスとフィニッシュの精度アップ。(仕掛けられる選手の育成)

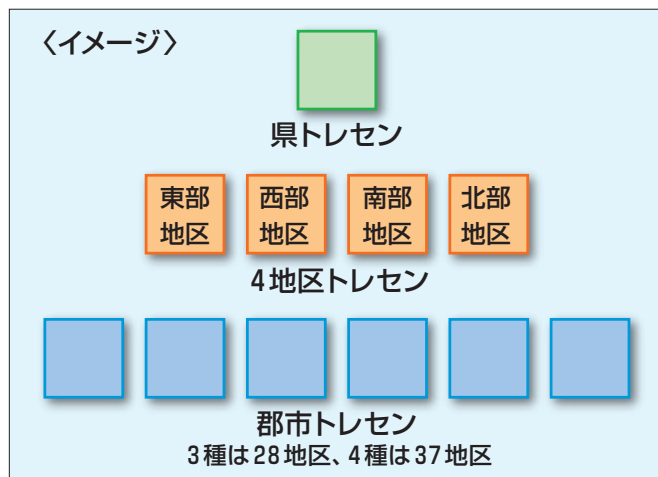
女子	監督	下山 薫	(浦和レッドダイヤモンズレディースユース)
番号	位置	名前	チーム名
1	GK	池田咲紀子	浦和レッドダイヤモンズレディース
2	DF	石井 咲希	浦和レッドダイヤモンズレディース
3	GK	田尻 有美	浦和レッドダイヤモンズレディース
4	DF	長嶋 玲奈	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
5	DF	南 萌華	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
6	DF	金勝 里央	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
7	MF	加藤 千佳	浦和レッドダイヤモンズレディース
8	MF	栗島 朱里	浦和レッドダイヤモンズレディース
9	MF	塩越 柚歩	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
10	FW	村山 百花	大東文化大学
11	MF	遠藤 優	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
12	MF	三木 萌子	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
13	MF	木崎あおい	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
14	FW	小嶋 星良	浦和レッドダイヤモンズレディースユース
15	FW	高橋 はな	浦和レッドダイヤモンズレディースユース

トレセン、指導者養成の現状

●県トレセン

県トレセンを頂点にして、東西南北の4地区での活動が主です。この4地区のトレセンに対して、3種と4種については郡市トレセンを開催し、選手を送り出しています。

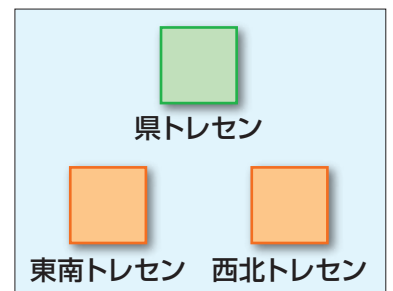
U-13から高体連のスタッフが入り、基本的にはU-16(国体)まで持ち上がり、U-16においては監督として指導の中心となります。現在、U-13に大野恭平(大宮南)、U-14に為谷洋介(東京成徳深谷)、U-15に平尾信之(浦和東)、今回の国体監督(U-16)としては翠川潤(和光国際)が関わっています。



●GKプロジェクト

GKトレセンを中心に活動してします。各年代で東南、西北に分かれてGKトレセンを開催しています。

県トレセンのGKコーチは、GKプロジェクトからの派遣となっており、下から関わってきたコーチが国体にも関わるようになっていきます。



●指導者養成

現在、3人のチーフインストラクターと24人のインストラクターによって、講習会が開催されています。

基本的にはC級、D級ライセンスの講習会を開催し、県内の指導者への受講をお願いしています。また、各リフレッシュ講習会を開催し、取得者の指導力向上をサポートしています。

2015年度47FA インストラクター一覧 (あいうえお順/☆印:チーフ)

市川 貴史	大石 裕弘	岡本 武行	岡本 隆吾
河合 一武	川本 竜史	菊原 伸郎	桑原 一郎(☆)
小牧 祐介	小松 工	小茂田佳郁	山原 伸治
笹川 智久(☆)	佐藤 勝彦	塩田 憲一	高島 敏之(☆)
高田 優二	高橋 清史	鳥塚 靖高	西川 誠太
橋本 政広	前田 秀樹	村松 浩	元井 淳
山崎 稔	山本 大	吉田 巡	

大会記録 ● 県内大会

1種・社会人

2015年度埼玉県社会人サッカーリーグ1部

●全日程終了

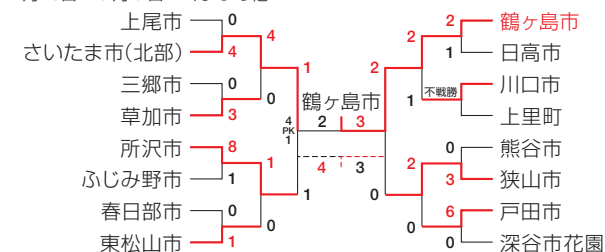
順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	アルマレザ飯能	13	5	0	85	18	+67	46
2	クマガヤSC	11	3	4	42	25	+17	36
3	Aventura Kawaguchi	10	4	4	44	34	+10	33
4	サンパ南SC	9	3	6	32	32	±0	28
5	越谷FC	8	2	8	42	31	+11	26
6	クラブ フェニックス	6	5	7	42	42	±0	24
7	パイオニア川越	5	4	9	31	42	-11	20
8	FC西武台	6	4	8	30	66	-36	18
9	アルドール狭山FC	3	4	11	31	53	-22	16
10	FC・SDEP	1	2	15	32	63	-31	13

※上位4チームが関東社会人サッカー大会に出場する

1種・自治体

2015年埼玉県「県民総合体育大会」サッカーの部

7月26日～9月6日 くまびあ他



※優勝は鶴ヶ島市

1種・大学

第49回埼玉県大学サッカーリーグ1部

●全日程終了

順位	チーム名	後期			通算勝点			
		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	城西大学	6	1	0	33	11	+22	37
2	平成国際大学	5	0	2	29	10	+19	31
3	埼玉工業大学	4	2	1	22	16	+6	24
4	尚美学園大学	3	0	4	26	18	+8	22
5	共栄大学	4	0	3	23	30	-7	16
6	文教大学	2	1	4	21	29	-8	14
7	駿河台大学	1	1	5	19	39	-20	11
8	獨協大学	0	1	6	19	39	-20	6

※優勝した城西大学は、関東大学サッカー大会に出場する

3種

高円宮杯第27回全日本ユース(U-15)選手権県予選会

8月29日～9月23日 県内各地

●代表決定戦

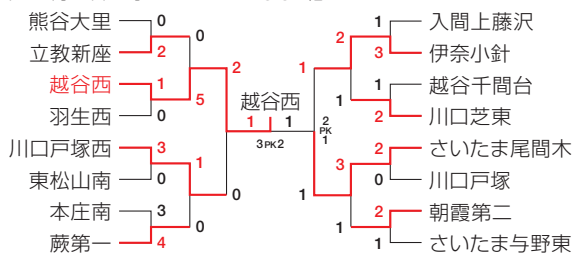
- 第1代表 1FC 2-1 FCコルージャ
- 第2代表 HAN FC 0-0 KASUKABE (3PK 4)
- 第3代表 ペレニア 2-2 武南Jr (5PK 4)
- 第4代表 ディプロマツ 3-1 三郷Jr
- 第5代表 CAアレグレ 0-2 FCフェスタ

※それぞれ代表チームが関東大会に出場する

3種・中体連

平成27年度新人体育大会兼第28回県民総合体育大会 兼 第25回テレビ埼玉旗争奪サッカー大会

11月5日～11月15日 埼玉スタジアム2002他

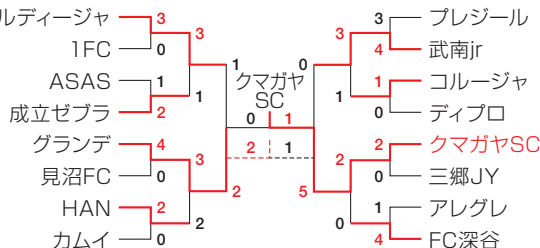


優勝 越谷西中学校

3種・クラブ

第25回埼玉県クラブユース(U-15)選手権大会

10月3日～11月22日 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場他



女子

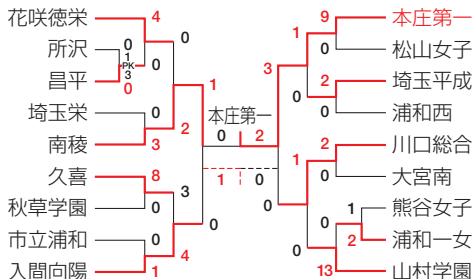
第35回埼玉県レディースサッカー大会

10月4日 埼玉スタジアム第4グラウンド

順位	チーム名	UILANI	FC B.B	北坂戸	得失差	勝点
1位	UILANI	*	1-0	4-0	+5	6
2位	FC B.B	0-1	*	4-0	+3	3
3位	北坂戸	0-4	0-4	*	-8	0

平成27年度埼玉県高校女子サッカー選手権大会

8月21日～9月20日



※優勝した本庄第一と準優勝した南校は関東大会に出場する



決勝▶
本庄第一 vs 南校



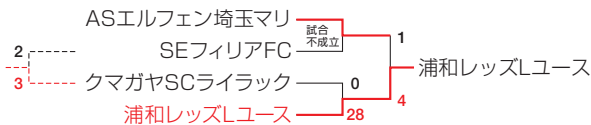
優勝 本庄第一高校



準優勝 南校高校

第19回埼玉県女子ユースサッカー選手権大会

8月23日、9月6日 川口青木町公園陸上競技場他



※優勝した浦和レッズレディースユースとエルフェン埼玉マリは関東大会に出場する



決勝 浦和レッズ vs AS エルフェン

第27回埼玉県少女サッカー大会 兼 第28回関東8都県少女サッカー大会埼玉県予選

9月5日～10月3日 幸手市大島新田グラウンド他

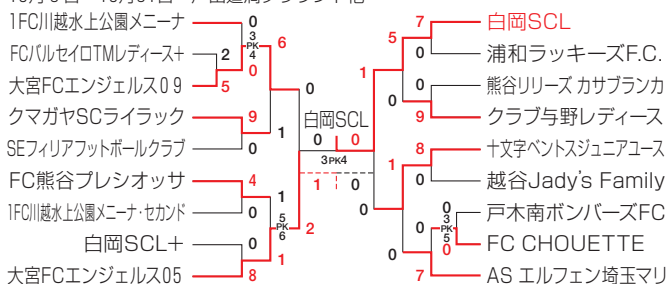
●決勝リーグ

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得点	失点	得失差
1	戸木南ボンバーズFC	3	0	0	9	10	0	+10
2	川越女子Jr.SC U-12	2	0	1	6	4	3	+1
3	戸塚FCガールズ	1	0	2	3	2	8	-6
4	浦和ラッキーズFC	0	0	3	0	0	5	-5

※優勝した戸木南ボンバーズを含む上位3チームは関東大会に出場する

第7回埼玉県女子ユース(U-15)サッカー秋季大会

10月3日～10月31日 戸田道満グラウンド他

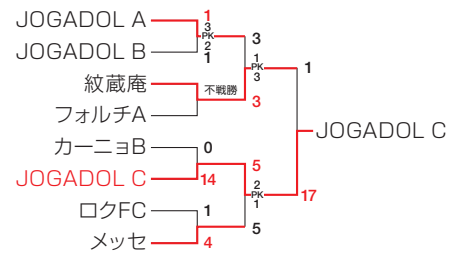


フットサル

第21回全日本ユース(U-15)フットサル大会埼玉県大会

8月22日～9月22日 くまがやドーム体育館

●決勝トーナメント

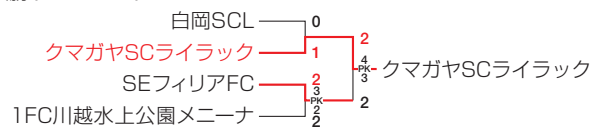


※JOGADOL Cが優勝し、関東大会に出場する。

第6回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会埼玉県大会

9月21日・22日 くまがやドーム体育館

●決勝トーナメント



※クマガヤSCライラックが優勝し、関東大会に出場する。

大会記録 ● 県外大会

1種

第95回天皇杯全日本サッカー選手権大会

8月29日～1月1日 味の素スタジアム他

- 2回戦 大宮アルディージャ 3-1 東京ヴェルディ
- 3回戦 ベガルタ仙台 0-0 大宮アルディージャ (4PK 2)
- 4回戦 FC町田ゼルビア 1-7 浦和レッズ

1種・社会人

2015年度 第49回関東サッカーリーグ 1部 ●全日程終了

チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
9位 さいたまサッカークラブ	13	4	1	13	10	41	-31

※さいたまSCは関東1部残留が決まった。

2015年度 第49回関東サッカーリーグ 2部 ●

チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
6位 FC TIU	24	7	3	8	25	24	+1
8位 大成シティフットボールクラブ坂戸	20	5	5	8	19	29	-10



1部リーグ さいたまサッカークラブ vs ジョイフルホンダつくばFC

第22回全国クラブチームサッカー選手権大会関東大会

9月19日～21日 神奈川県立体育センター陸上競技場他

- 1回戦 I.A.C Raseele(栃木県) 0-1 FC. BOWTH
- 準決勝 群馬教員サッカークラブ 4-3 FC. BOWTH

※船橋FCが優勝し、本大会に出場する

第43回関東自治体職員サッカー選手権大会

10月24日～27日 東海村 阿漕ヶ浦公園

- 2回戦 桐生市役所 1-4 さいたま市役所
- 準決勝 市川市役所 1-0 さいたま市役所

※優勝は市川市役所

大学

JR東日本カップ2015 第89回関東大学サッカーリーグ戦 2部

●全日程終了

チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
10位 東京国際大学	22	6	4	12	21	31	-10

※東京国際大学は10位

2種・クラブ

2015 Jユースカップ 第23回Jリーグユース選手権大会

10月10日～11月15日 ヤンマースタジアム長居他

1 回戦	浦和レッズ	7-0	AC長野パルセイロ
2 回戦	大宮アルディージャ	5-2	ザスパクサツ群馬
	浦和レッズ	6-0	カターレ富山
3 回戦	大宮アルディージャ	1-2	FC東京
	京都サンガ	0-2	浦和レッズ
準々決勝	セレッソ大阪	1-3	浦和レッズ
準決勝	大分トリニータ	0-2	浦和レッズ
決勝	名古屋グランパス	1-2	浦和レッズ

※浦和レッズユースが大会初優勝

3種

2015 関東ユース(U-15)サッカーリーグ 1部 ●全日程終了

チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
1 位 浦和レッズJY	45	14	3	5	38	26	+12
4 位 大宮アルディージャJY	34	10	4	8	38	27	+11

2015 関東ユース(U-15)サッカーリーグ 2部 ●全日程終了

チーム名	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
3 位 GRANDE FC	44	13	5	4	33	16	+17
10位 クマガヤSC	23	6	5	11	28	40	-12

女子

第24回関東高校女子サッカー選手権大会

10月24日～11月1日 山梨・押原公園天然芝グラウンド他

1 回戦	本庄第一	1-2	健大高崎
	南稜	0-2	幕張総合

第11回関東高校女子サッカー秋季大会

11月7日～15日 尚美学園大学グラウンド他

1 回戦	入間向陽	2-0	太田女子
	川口総合	2-2	藤沢清流
		(1PK2)	
2 回戦	村田女子(東京)	2-1	入間向陽

※優勝は村田女子高校。

第28回8都県少女サッカー大会

11月14日、15日 熊谷市スポーツ文化村「くまびあ」

●予選リーグ

グループB	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
3 位 川越女子ジュニアSC	3	1	0	2	2	4	-2

事務局だより

●この時期は難しいジャッジが必要となる試合が多くなり、事務局にも問合せがきますが、最近は少なくなった気がします。審判講習会。フェアプレー。リスペクト等サッカー(スポーツ)理解者が多くなった成果だと思います。(坂庭)

●広島に行ってきました。2才までしか住んでいなかったのが記憶は全くありませんが、なんとなくホッとする街でした。次は4才まで住んでいた大阪に行ってみよう!(こいち)

●暑さ真っ盛りの中の引っ越しから数ヶ月が過ぎ、未だ部屋の片隅にちらほらと荷物があるのは、きつと気のせい…ではないですね(泣)。朝晩冷え込む季節になったのに、あと少しが終わらない!年内に無事片付くよう見守ってください!(笑・かのう)

●最近、色々な方から「前より筋肉がついたんじゃない?」と言われる。今年から取り入れている筋トレの成果が少しずつ現れているのかなと思います。この筋トレの成果を見た目だけではなく、走りなど実際の動きにもしっかりと活かせるように頑張ります!!(阿部)

●銀杏の葉も色づき、山茶花の花も咲き始めいよいよサッカーに良い季節になってきました。来年のアルディージャはJ1に決まり、ダービーが楽しみです。また、高校サッカー全国大会が埼玉近郊で開催されますが、皆様も、体調に気を付けて応援よろしくお願います。なお、来年度の更新が完了していない審判員の方々は更新処理をお願いします。Kickoff 操作等で不明な事項は、登録デスク(050-2018-1990)へお願いします。(藤澤)

グループC	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
1 位 戸木南ボンパースFC	9	3	0	0	5	0	+5

グループD	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
3 位 戸塚FCガールズ	3	1	0	2	1	10	-9

●1位トーナメント

準決勝 バディFC(東京) 3-3 戸木南ボンパースFC
(2PK3)

決勝 戸木南ボンパースFC 3-1 横浜ウインズ

※戸木南ボンパースFCが14年ぶり2度目の優勝。

フットサル

第12回全日本女子フットサル選手権大会関東大会

9月26日、27日 ウイングハット春日部

●予選リーグ

Bブロック	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
2 位 アヴェントゥーラ川口	3	1	0	1	7	3	+4

Cブロック	勝点	勝	分	負	得点	失点	得失差
2 位 SAICOLO	3	1	0	1	4	8	-4

※優勝はバルドラル浦安

インフォメーション

●県中体連サッカー専門部のホームページができました

このたび、県中体連サッカー専門部としてホームページを立ち上げました。以後、速報などはこちらでご確認ください。よろしくお願い致します。

<http://saitamasoccer.webnode.jp/>

●第9回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会が開幕

11月29日より第9回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会が県内8か所で開幕し、12月20日に開催される埼玉スタでの決勝戦を目指します。

<http://c4jr-saitamafa.com/151116-senshu-yagura.pdf>

試合当日にNHKさいたま放送局(85.1MHz、秩父83.5MHz)で生放送されます。またテレビでは中継録画の予定です。お楽しみに。

●平成27年度第94回全国高等学校サッカー選手権大会が開催に向けて

今年度も「第94回全国高等学校サッカー選手権大会」が県内で開催されます。決勝と準決勝は埼玉スタジアム2002、1~3回戦は浦和駒場スタジアム、NACK5 スタジアム大宮で行います。会場には一般駐車場はございません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。周辺商業施設、道路などへの違法駐車は絶対しないでください。引き続き大会が開催できるよう、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

編集後記

とにかくアルディージャの優勝と昇格が決まったことを喜びたいと思います。夏のペースだと10月中にはあっさり決まると思っていたのですが、やはり簡単にはいかないものです。来年から「さいたまダービー」が復活します。これまでの多くの人に観戦してほしいものです。おめでとうございました! 逆にエルフェン埼玉の2部への降格が決まりました。結果につきましては次号に掲載させていただきます。アルディージャのように1年での復帰を期待しています。(荒川)